

平成26年度

第9回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成26年度第9回阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成26年12月25日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時45分

2 場 所 吉野支所 2階会議室

3 出席委員

委 員 長	安 田 佳 子
委員長職務代理者	重 清 由 充
委 員	大 塚 清
委 員	森 勝 正
委員(教育長)	坂 東 英 司

4 会議出席者

教 育 次 長	吉 田 一 夫
教 育 次 長	高 田 稔
教 育 総 務 課 長	那 須 啓 介
学 校 教 育 課 長	大 倉 敏 美
(書記) 教 育 総 務 課 課 長 補 佐	笠 井 久 美 代

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 阿波市就学援助費交付要綱の一部改正について
- (4) その他

会議の概要は、次のとおり。

【安田委員長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【吉田教育次長】第7回・第8回定例会の会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【安田委員長】教育長に報告を求める。

【坂東教育長】12月4日から25日までの、主だった教育委員会行事等について報告。

〈質 疑〉

【森委員】17日の駅伝の結団式ですが、委員には役がないようなので応援だけですか。

【坂東教育長】応援をお願いします。市場町の徳島新聞前に10時30分ごろになります。

【安田委員長】去年は、阿波市が1番で徳島新聞前に来ました。

【森委員】定期的に練習して皆さんご苦労様です。みんなで盛り上げていけたらと思います。4日の徳島県学力向上・授業改善調査検討委員会委員会ですが、各郡市での対応のような話がありましたか。

【坂東教育長】夏の学力テストの結果をみて、県が検討委員会を作り大学の教授や小中の校長先生の代表、11名の方がどうすれば学力が上がるか、徳島県の課題についての話の場です。明日が最終回となり報告書の素案ができあがります。1月になって各市町村、学校のほうに配布して取り組みをお願いします。1月に配布して、4月のテストまで3カ月間の取り組み案をもち込んでいます。教育委員会といたしましても、それぞれの教育委員会が対応することになっておりますので、阿波市としても強力でやっ払いこうと考えております。

【森委員】学校の中で頑張って取り組んでいくのはもちろんですが、保護者の方に何か発信する考えはあるのですか。

【坂東教育長】それぞれの保護者の協力で連携することはもちろん、家庭学習が重要であることをもとにそれぞれの学校でその報告書をもとに取り組んでもらうことになります。

【森委員】保護者も協力していかないと難しいと思います。

【重清委員】伊沢小学校の学校だよりを見せていただいたのですが、学校で分析した結果が掲載しており、家庭での学習が大切で読書をしっかりとすることと基礎的なことで考える力を養うことが大切だと校長先生が書かれておりました。

【安田委員長】学力テストの結果から大変だと認識しております。やはり、家庭学習が大切だと思います。重清委員と放課後学習に行っているのですが、能力にはバラつきがあります。保護者に協力を求めることは大切だと思います。

【大塚委員】成績の下の方の子が上げれば平均も上がります。

【坂東教育長】学校、教育委員会の意識改革が大切だと思います。我々の課題として、非常に厳しい状況だと伝えて、先生みんなが共通意識としてとらえてもらったらと思います。小中学校の教員の課題だと思っていただきたい。

【森委員】家庭での携帯の使い方・パソコンの使い方によって学力に関係してくると思うし、学校の教員の取組を除いては考えられないと思うし、より効率良くするには保護者の協力が必要だと思います。

【安田委員長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 阿波市就学援助費交付要綱の一部改正について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【大倉学校教育課長】阿波市就学援助費交付要綱の一部改正について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】準要保護のことですか。給食費は準要保護から引かれて渡しているのですか。

【大倉学校教育課長】含まれております。

【安田委員長】そこから払うのですか。

【大倉学校教育課長】第6条の中に保護者は教育委員会が指定する援助費を除きとありますが、この援助費が給食費のことです。給食費は直接校長の口座に振り込みそれ以外は保護者の口座に振り込みます。

【安田委員長】今までとこの点が大きく変わるのですか。

【吉田教育次長】変わったのは、申請を学校または教育委員会でしておりましたが、学校長を経由して教育委員会に出してくださいということです。この様式の中にも校長の確認を押印する欄があります。もう一点が、教育委員会が指定する援助費を除いて振り込みしますということです。

【森委員】4条の所のまたは直接というのを消していますが、今まで直接教育委員会に持ってきて学校を経由してこなかったのが多かったのですか。

【大倉学校教育課長】はい。

【森委員】 学校長に知られたくないとか。

【坂東教育長】 この文章を子どもが学校に持っていくことを嫌う保護者がいます。保護者が委員会に持ってきたら子どもが知らないだろうということです。

【安田委員長】 それをしたくない保護者は直接保護者が学校に持ってきたらいいのですか。

【坂東教育長】 それもあるし、今も学校にもってきている子どもはわからないようにしてもたせています。

【森委員】 そこまできちんとしないと子どもが不審がってもいけないし、私たちが現場で教員をしているときには、子どもごとに金額が違うことがありました。金額の違う集金はやってほしくないなと思います。教員は、いろいろな方法で集金袋を渡しますが、子ども自身気がつきます。中学生になるとわかります。プライバシーを守るような封筒にするのがいいのですが。

【坂東教育長】 振込にすると引き落とせない時もありますし。

【森委員】 保護者によっては、口座払いにすればという人もいるのですが、金融機関もどこにするか問題が発生します。

【安田委員長】 どれが最善の方法かむずかしいです。家庭間の収入格差もあり準要保護が増えていきます。それに伴い学力の差もあり少し心配かなと言う子もいます。先生には勉強以外の負担は減らせたらと思います。

【坂東教育長】 いろんな補助があるので兄弟がいたら減額になるような会費もありますし、それぞれに対応したように集金します。金額を書いたものを封筒に入れ封をして渡しますのでそれぞれ違いはありますが、子どもは違いがあって当たり前だと思っています。

【森委員】 封筒にも配慮がいらいます。

【安田委員長】 「阿波市就学援助費交付要綱の一部改正について」を了承する旨を告げる。

(4) その他について

【安田委員長】 委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【高田教育次長】 仮称の阿波市いじめ防止対策基本方針の策定についての説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】 4月からだと駆け足のようにして作成するのですか。

【高田教育次長】 だいたいの案は出来ておりますので、ご意見をいただきたいと思っております。

【大塚委員】 委員さんは了承いただいているのですか。

【高田教育次長】委員会がありますので、事前をお願いしようと思います。

【森委員】重大事故の時は調査委員会をおくということですか。調査委員会はその都度決めるのですか。

【高田教育次長】常置となります。

【森委員】どのような方に依頼しますか。

【高田教育次長】いじめ問題専門委員会ということで8名と考えております。重大事態もありますが、いじめ問題対策についても協議していくことを考えています。8名のメンバーは、小学校関係者の生徒指導、中学校関係者、学識経験者、児童相談関係者、心理専門スクールカウンセラー、PTA関係者、少年犯罪関係者は吉野川署の生活安全課と育成センター所長の8名と考えています。

【安田委員長】弁護士は考えていませんか。

【高田教育次長】教育委員会の中で重大事態について話し合いをします。解決しない場合は、市長部局に組織を設けて再調査をおこなう組織を考えています。ここには、弁護士又は新たな方を市長部局で考えています。

【森委員】調査ってむずかしいと思います。調べるほう、調べられる方にも人権があります。調査できる権限がどのようになるのか、確固たるものがないように思います。学校現場がアンケート取っていますが警察の取り調べと違いますが、最終人権を守るのにどれが最善なのか。そこに対しては、みんなが協力する組織があればいいのではないかと思います。警察関係者も入りますが大変だと思います。このメンバーが調査するのかそれとも他のメンバーが調査したものを真相追究するのか考えておいたほうがいいのではないかと。慎重に進めてほしいと思います。

【高田教育次長】これまでの大津の事件では、いじめはあったとのアンケート結果を踏まえて報告する際にいじめを否定するような発言があったり、公開しないという様々な問題があったと思います。外部の委員が入る中で学校での調査結果を見直す中、今までやってきた中でどこに問題があったとかそういったことを話し合う機関ではないかと思います。また、調査組織が直ちに調査するものではないと思います。重大事態が起き、委員会へ報告を受けた時に、スクールカウンセラーを派遣して学校の取組を支援することもできると考えております。それでもうまくいかない時は、多くの方の意見をいただきながらその問題を解決するために話し合ったり調査に対して指摘する部分を話し合ったりできると考えています。

【森委員】会では、防止的なことも話し合っしてほしいと思います。人の命がなくなってアンケート、調査、捜査。警察関係者が入ってこられるよりも、防止的な活動を生徒や保護者も一緒にできるようにやっていただきたいと思います。

【安田委員長】大津の場合は最悪だったと思います。教育長までが真実を明らかにしないという方針をとり、市長は明らかにするという考えだったと思います。教育委

員会と市長部局が混乱したと思います。関係者が集まって審議するのは大切だと思います。最悪のパターンを見越してのメンバーだと思います。森委員の言うように最後までいかないのがベストだし、いじめがないのがベストだし、委員会ができましたということをアピールすることによっていじめ防止ができるということがあると思います。

【森委員】しっかりアピールして、地域の人にいじめは許さないと知らせる方法もいいのではないですか。アンケートだけで済ませることはしない方がいいと思います。

【安田委員長】大人の認知できないところでいじめがあります。

【大塚委員】どんな材料でもいじめになります。少し人と違うだけでいじめの対象になります。

【森委員】われわれが子どもの頃はからかっていることがありましたが、言い返していました。人と人の対応の仕方を大人になってもできるようにするにはむずかしいです。

【安田委員長】了承する旨を告げる。

【高田教育次長】長期休業日の短縮について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】以前エアコンがついたら短縮してもいいのではないかなとお話があったと思います。5日短縮は夏休みだけですか。

【高田教育次長】すべての長期を考えております。夏休み3日、冬休み1日、春休み1日と考えており、中学校は夏休みの終わりは文化祭等の準備で登校している状況があります。それぞれの学校においても補充学習をおこなっております。中学校は夏休み4日、冬休み1日と考え意見をまとめているところです。

【森委員】徳島県の小中学校は近隣県より冬休みが1日長かったと思います。祝日等とかの関係で休みが長くなることがあります。ただ最近周辺の市町村ではエアコンを設置して授業日数を増やすところがあると思います。エアコン設置を学力向上に関連づけると要望しやすいです。学力向上のために長期休業日の短縮に賛成です。

【安田委員長】現場の意見を聞くのは大切だと思います。私も賛成です。苦肉の策で授業前の15分のプリントをするよりもいいのかと思います。阿波市はエアコンの設置は決定されていませんが、先生たちもがんばっているのの後押しのできる理由になると思います。子育て会議の中で、医療費問題が出たのですが認めませんでした。それは、中学校の医療費を認めず阿波市の少ない財源でエアコンをつけてもらうためです。土曜日に授業をするよりは、先生に納得していただけたと思います。

【大塚委員】夏休みになったからと急に温度が上がることもないし、暑いときに授業するのにそんなに影響はないと思うし、このように振り分けたら受け入れやすいと思います。スケジュール的に厳しいからこのようにしなくてはいけないと思います。

【重清委員】私も皆さんの意見に賛成です。

【安田委員長】学力の話で市長と話した時に厳しいですと言ってあります。それに結果が伴わなければなりません。他の市町村ができているのだから阿波市がしないのはおかしいと思います。先生もそういう意識を持ってもらいたいと思います。

【高田教育次長】長期休暇の短縮している市町村は、鳴門市は26年度から、夏休み一週間程度が藍住町、東みよし町は来年度から一週間程度、三好市も来年から一週間程度、那賀町来年から5日程度となっています。学校管理規則の中に長期休業規則がありますがその変更もしなくてはなりません。試行的にやってみて意見をいただき阿波市としては次年度以降に夏休みの日数を決めてもいいのではないかと考えております。

【安田委員長】ほとんどの市町村で行っているのでやらなくてはいけない状況です。

【森委員】学校の先生方も必要だという方向でお願いしたいです。

【高田教育次長】来年度の4月1日からと考えていますが、校長会の意見も頂いて検討していきたいと思います。試行的に1年間様子を見てその後正式に行いたいと思います。

【森委員】日数をどうするか、エアコンのないなかで反発もあると思います。

【安田委員長】他の市町村もされているので行うことがいいと思います。高田次長、強く学校現場に推していただきたいと思います。

【森委員】5日にする予定ですか。

【坂東教育長】今土曜日に行っているところを見ますと、土曜日3時間が月1回10ヶ月で30時間になり、1日6時間で5日となります。

【森委員】それには給食も伴いますか。

【坂東教育長】そうです。

【森委員】30時間となると、夏休み3日、冬休み1日、春休み1日となるわけですか。

【坂東教育長】春休みは、入学準備とかありますので避けたいと考えております。

【森委員】冬休みが一番やりやすいですね。

【坂東教育長】以前は、12月25日が終業式でしたから。そのようなことも含め検討します。

【安田委員長】あとは、校長会とかで話し合いをして行ってもらいたいと思います

【森委員】阿波市の教師の平均年齢は高いですね。

【坂東教育長】45歳から60歳までが阿波市全体の教師の80%となっています。

【森委員】若い方の採用が増えればいいのですが。

【大塚委員】以前は臨時で長くつとめられて採用になることが多かったのですが、今は臨時で1・2年勤めて止められる方が多くなりました。

【森委員】臨時をしながら採用試験を受けるのは難しいと思います。長い間採用試験を受ける人も少ないと思います。昼間の勤務に集中するためです。

【那須教育総務課長】阿波市栄養・給食管理システム導入メーカー選定委員会設置要綱について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】新たにシステムを導入するということですか。そのメーカーが決まったら後の維持管理もするのですか。

【那須教育総務課長】はい。

【安田委員長】競争入札でないということですか。

【那須教育総務課長】はいそうです。

【森委員】このシステムは具体的にどのようなことをするシステムですか。

【吉田教育次長】クラスごとの栄養管理から栄養の資料づくり、食材がどれくらい入っているかの各学校各クラスごとに管理し配分するシステムです。今は個人が持っているソフトを使用しています。4月から対象人数が今の倍になり管理するにあたり今のソフトでは対応ができなくなりますので新たに導入するということ。予算は組めております。業者も何社かありますが、内容が違いますので競争に適合しません。一度すべての業者を寄せて内部でどのソフトがいいか、どれだったら阿波市が対応できるかということ踏まえてソフトを決定しその後、そのソフトウェアを入札にかけて導入するということです。

【森委員】ただ30人クラスだったらこれだけでよいという表計算では駄目なのですか。栄養としてのグラム数も計算するのですか。

【安田委員長】栄養師も入っているのですか。

【森委員】やはり、栄養師の意見が必要だと思います。

【安田委員長】専門ソフトは高いですから、吟味して選んでいただけたらと思います。

【森委員】同じものを入札にかけて値段が下がることはないのですか。

【吉田教育次長】メーカーを選定しますので値段は変わらないと思います。

【安田委員長】メーカーを選定するのは競争でなくて管理運営するのは競争入札になるわけですか。

【吉田教育次長】はい。代理店とかいろいろありますので同じメーカーを競争入札するということ元は同じですので、得意分野の業者になると思います。

【安田委員長】前段階でメーカーを選ぶということですか。それでは了承してよろしいか。

【各委員】はい。

【那須教育総務課長】教育コンピュータについて説明。

〈質 疑〉

【森委員】体育館、エアコンもあるのですが、コンピュータが先になるのですか。

【吉田教育次長】まだわかりません。

【安田委員長】タブレットの要望は前からありました。

【吉田教育次長】パソコンの寿命は短いです。7年間リースしてもまた新しいのがいらすし。順次に毎年更新していくようになります。

【安田委員長】タブレットがあれば電子黒板になりますか。

【森委員】電子教科書も紙ベースよりいいのではないですか。

【吉田教育次長】デジタル教科書は現在の教科書より高いです。

【安田委員長】それでは了承してよろしいか。

【各委員】はい。

【大塚委員】フッ素洗口についてどのようになっていますか。

〈質 疑〉

【吉田教育次長】学校の関係と予算的なことを考えています。学校が了承していただければと思いますが。

【大塚委員】校医を通じて学校には話してもらいます。

【吉田教育次長】それが決まってからになります。

【森委員】口の中に薬品を入れるので保護者の理解がいきますね。

【大塚委員】年2回の健診の時にも洗口はしています。保健の先生の案内文で報告していると思いますが。

【森委員】保護者に洗口の重要性を理解してもらうことがだいじですね。

【大塚委員】学校医と相談してみます。

【安田委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成26年12月25日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐